



あるあるメモ

身近な人が「がんという病気」を抱えていると知った時「自分に何かできるだろうか・・・」と考える人がほとんどでしょう。大切な人と思う日が続きます。しかし人間は不思議なもので、病気と闘いながら力を振り絞って笑顔で過ごすがん患者さんを前にして、見た目だけで「元氣そう」と思ってしまう。がん患者さんの笑顔の向こう側にある辛さを理解したいものです。

あるある情報

がんの手術後や抗がん剤などの治療後に「元氣そうね～」と周囲の人から言われることがあります。そんな時は独り言のように「手足がしびれて上手くできないな～」とか「あ～手術してるから腕だる～」とか、常日頃から目に見えない辛さを発信していきましょう! 「わかってよオーラ」を出していきましょう!

# こころの駅舎 がん患者 “あるある”かわら版

知っていますか?ACP(人生会議)



自分らしく生き続けるために、自分が受けたい医療やケア(介護)について考え、家族や医療者と話し合い、文書にまとめたいと考えている人は、多いと思います。

東広島地区医師会では、広島県地域保健対策協議会(広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成される団体)と協力し、「ACP(人生会議)」の普及を進めています。まもなく10連休。お休みを利用して、ご家族とこれからの人生について語り合う一時を過ごされるのも良いかもしれませんね。

～まあおぼちゃんの独り言～




## 「令和」の時代到来!

4月になり、気持ちを新たにしている人も多いいんじゃないかしら。特に今年は元号が変わり、新時代幕開けの予感がするわね。新元号「令和」には、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますようにとの願いが込められているそうよ。私も皆さんと一緒に希望の花を咲かせたいものだけ!



## “4コマ漫画”に込めた思い

 4コマ漫画には「こころの駅舎」に参加されているがん患者さん・ご家族を中心に、患者さんを支える医療スタッフなどが登場しています。ユーモラスに描かれるがん患者さんの日常(療養)生活のひとコマが「こんなこと“あるある”」「こんなことがあるんだ・・・」と、がんに対する理解を深めるきっかけになればと願っています。

### \*今回登場人物

「仕事と家事をこなす  
頑張りすぎるがん患者さん」  
の登場です



### ■ 毎月第4木曜日

### ■ 開催形態

イベント型(4月、8月、12月)

[時間] 14:00 ~ 15:30

定期型(上記以外の月)

[時間] 14:00 ~ 18:00

### ■ 東広島芸術文化ホール

くらら

東広島市西条栄町7番19号



第11号(平成31年4月25日)

### こころの駅舎発行



〈事務局・発行協力〉

一般社団法人 東広島地区医師会  
地域連携室あざれあ

電話: 082-493-7360

FAX: 082-493-7361

